



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向
【福音宣教】キリスト者の共同体の
権利の承認
【日本の教会】原発事故の記憶を保つ
教皇様の意向のために祈りましょう

教区司祭評議会と本部会議 新年度を前に 方向性を探る

一年に4回開催される、教区司祭評議会と教区本部会議。2018年度最後の会議が2月に開催され、新年度に向けて、教区の司牧・運営課題について話し合いがもたれた。フランスコ教皇の来日も正式に決定した中、福岡教区の歩みの方向性を探る時となった。

2月19日(火)に行われた教区司祭評議会では多くの議題が取り上げられた。
①1月21、22日に行われた教区内全司祭総会を受けて、(ア)小教区の適正配置を考へる。これについては、各地区の司祭・修道者・信徒の集まりの中で検討していくように。(イ)教区内の幼稚園の在り方について。各法人の理事会・評議会でよく検討され、方針を打ち出していくこと。また、教区の方針も兼ね合わせで考えていくこと。

②2019年度教区内司祭研修会(10月15日から17日)について。「開かれた教会、出向いていく教会」をメインテーマに、外国人信徒に対しての司牧や入管法改定について知ることもや司教の在り方を考えていくことなどが話された。

③その他。各地区からの報告があり、福岡地区が宣教師評議会議を立ち上げ、従来の信徒使徒職協議会と一緒に歩んでいくことが話された。他の地区は新年度の行事予定などが報告された。その後、11月23日予定の「教区の日」について話され、教皇訪日の日程が決定次第で取り進むかどうかを示唆された。お知らせとしてクルシヨが今年も行われることが話された。

助祭叙階式のご案内

日時：3月21日(木・祝) 11時から
場所：カテドラル大名町教会
受階者：ペトロ 船津亮太 神学生
司式者：ドミニコ宮原良治司教
受階者のためにお祈りください。

3月6日<灰の水曜日>から 四旬節に

2018年の四旬節メッセージでフランスコ教皇は四旬節は「生活のあらゆる側面から主に立ち帰る期間、恵みの時、喜びと真理のうちに過ごす時」と述べています。四旬節に守る「償いの日」。「償い」は「霊的健康を回復する」「私たちがキリストに似た者になるように助ける」ものです(参照『カトリック教会のカテキズム』1459、1460)。教区ハンドブック6~7ページの「償いの日について」を参考に、それぞれに相応しい四旬節を過ごしましょう。

その日は寒い朝でしたが心は燃えていました。その6年前から、私は御絵の裏に毎日ペン先で一本ずつ小さく線を引いて司祭叙階までの日を数えていました。やっとその日を迎え、司祭叙階の恵みを受けました。司祭として60年間、数しれない人々との出会い、思い出が心に浮かびます。特に私の心の奥に残っているその日の思い出は、「司祭とは自分のためではなく、ほかの人々のために叙階され、派遣される」ということばです。司



F・ソットコルノラ神父
(聖ザベリオ宣教会)
今年、司祭叙階60周年、50周年、25周年を迎える司祭たち、言葉を送らせていただきました。4月17日(水)の福岡教区聖香油ミサ後に祝賀会が予定されています。

祝司祭叙階60・50・25周年

祭生活の大半は日本で、主に福岡教区で働きました。この間の毎日の喜びと力のいずみは御聖体の秘跡によるわが主イエス・キリストとの出会いでした。夜が近づいた今、次の人にバトンを渡すことを希望しています。ともあれ、明日も日は昇ります。

叙階60周年

叙階50周年

H・オカロール神父
(聖コロンバン会)
司祭叙階50周年にあたり、聖コロンバン会司祭として導いてくださった神様と司祭の母であるマリア様に心から感謝いたします。私は司祭生活の大半を福岡教区で過ごし



ある神父様が銀祝をお迎えた時に、仰っておられ



教区本部事務局で行われた会議の様子

時の話題

助祭叙階に向けて 思うこと

神学院生活が5年過ぎ、いよいよ助祭叙階の日を迎えることとなりました。社会人を5年経験し神学院に入学した私にとっては、当初、神学院で授業を受けて試験を受けるという慣れず慣れず苦勞したことを思い出しながら、新たな自分へと変えられていくような時間でした。そして入学してからの

年数と社会人としての年数が奇しくも等しくなりました。また新たな一歩を踏み出すときがきました。

叙階の儀の中で、受階者は招きの呼び出しに応えて一歩前に足を踏み出します。その一歩によって、私の人生はまた新たにされていくのでしょうか。「聖別」されてこれまでは切り離された、まったく別様の歩みが待ち受けているとでも言うのでしょうか。そう考えるとその一歩はとて重いものに感じられます。しかし、それまでの過去の生活とその日以降の未来の生き方は、「その日」を基点として連続線上につながっているはず。これまでの歩みの延長線上でもあるということ。これは、これからもキリスト者としての歩みを続けていくということにほかなりません。

私たちは皆それぞれの道を歩む中でキリストになつていく。私もこの召命の道を歩む中でキリストに倣いに聴従し、自らを差し出していく。その時々で神の助けと働きがあることを、その一歩一歩に確かに感じながら歩んでいきたいものです。

福岡教区神学生 船津亮太
※3月21日に助祭叙階されます。

3月22日 性虐待被害者のための祈りと償いの日

2016年12月に日本カトリック司教団が「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたって「この日を「四旬節・第2金曜日」と定めた。今年3月22日(金)。教皇フランシスコの全世界の司教団に向けての通達に「祈りと償い、被害者の痛みを学ぶ機会を作つてほしい」と全信徒に呼びかける。

2018年8月には「神の民への教皇フランシスコの書簡」が発表され(2018年10月号で既報)、カトリック教会における性的虐待、権力の乱用、心理的虐待に関しての教皇の司教的・霊的メッセージが綴られている。各メッセージの全文はカトリック中央協議会のホームページに掲載。福岡教区では2018年4月より被害者への対応とケアのため「セクシユアルハラスメント相談窓口」を開設している。

叙階25周年

湯浅 俊治 神父
(サン・スルピス司祭会)



現在、福岡教区内で奉仕をしている司祭は教区司祭が39人(引退司祭含む)、修道会・宣教会司祭が36人。叙階の秘跡により司祭の奉仕職に召された司祭らが、キリストと教会共同体との交わりの中で歩むことができるように共に祈りましょう。



「四旬節」。私たちのためにイエスが救いの道を歩んで行かれた「その時」を黙想する時▼一枚のフアックスに驚いた。神学生時代の先輩の訃報だ。苦業を共にしてくれた先輩。いつもは朗らかに、優しかった先輩。野球、サッカーは人一倍上手かった。信仰熱心な土地の出で、霊的にも尊敬に値する人だった。彼は、37年間の司祭生活を送ったが、教会や施設では持ち前のパフォーマンスで大勢の人を魅了した。だから大勢の人から親しまれ、敬意を受けた。司牧も手を抜くことなく、祭儀はもろろん大事に行い、要理を教え、冠婚葬祭を丁寧にこなし、病人訪問も欠かすことがなかった。子ども達も大好きで、「一緒に遊んだという。そんな生活を楽しんでる途中の出来事だ。」「心筋梗塞で帰天された」との知らせに目を疑った▼葬儀ミサに加わった。神学生時代の同期生で、後に司教になった方の説教は在りし日の彼の姿をよみがえらせた。弔辞では、教区信徒代表の方が彼を絶賛していた。その中で、「子どもにも愛されていた神父様が棺に横たわっている姿を見て、一人の子が、『神父様、なんでまだ寝るとね。早く起きなば』と声をかけた」という言葉に皆は目頭を押さえた。また忠告もいただいた。「神父様方は神様から選ばれて遣わされた人達。自分だけの体ではないので、健康管理にも十分注意するように」と▼「四旬節」。主イエスの受難と死は彼の「その時」だった。私にも人生の途中でいつ「その時」がやって来るのか分からない。準備を怠らないように。(S)

中米パナマで世界青年大会(ワールドユースデー) 若者よ、「神の今」を生きよう

1月22日から27日まで、ワールドユースデー(世界青年の日)パナマ大会が開催され、福岡教区からは青年の篠原聡一さん(糸島教会)と同伴者の田中重治神父(大牟田教会)が参加した。日本巡礼団は青年と司教、同伴者ら54人が参加。全世界からは約70万人が集った。今大会のテーマ「わたしは主のはしためです。お言葉とお祈り、この身に成りますように」(ルカ1・38)を中心に、参加者は日本と世界の仲間と信仰を持つ喜びを分かち合った。

巡礼団は1月16日に日本を発ち、本大会が始まるまでの

信じる喜びから伝える喜びへ

今年宮原良治司教様の年頭の挨拶を受けて「信じる喜びから伝える喜びへ」と新しい教区の目標が発表されました。この年間目標には二つの側面があります。第一に「信じる喜びから」、すなわちイエスが私たちを呼んでおられます。彼と同じように聖なる者になるために。第二に「…伝える喜びへ」、すなわち私もイエスと出会ったという福音(よい知らせ)を伝えなければならぬ内面的衝動から生まれる宣教の行為(今年の10月は「宣教のための特別月間」と教皇は発表されました)。

司教様はそれを考えて黙想するために教皇フランシスコの使徒的勧告『喜びに喜べ』(カトリック中央協議会2018年10月発行900円)を勧めておられます。現代に聖なる者として生きるために貴重なヒントがたくさん詰まっている手紙。その中からこのシリーズで毎月一部を(「師なるかたに照らされて」63~109)取り上げてコメントしたいと思います。みなさんがイエスと呼ばれている実感が持てるようにお祈りを申し上げます。(生活聖化委員会委員長 A・トゥルコ)

信じる喜びから伝える喜びへ ① 貧しさが聖なるものになる

「聖なる者になりたいですか。教皇フランシスコの自筆の手紙『喜びに喜べ』は全体を通して私たちにこの素朴な質問を投げ掛けてくださるような気がします。「私が聖なる者!?聖人・完全な人になるれません!」と思うかもしれませんが、私がキリスト者として聖なる者にならなければ「キリスト者」と言う言葉は一体何を意味しているのでしょうか。洗礼によって清められ、聖霊の賜物で強められ(堅信)、日曜日ごとに主の体で養われて、定期的にゆるしの秘跡も受けて…。この営みは聖なる者になるためになければ何のためでしょうか。

実際、すべての教会の秘跡と祈りはキリストにつながると祈りたされるためにほかなりません。私たちの聖性は私たちのものではなく、キリストから流れ出るめぐみです。

「教区の日々」をパナマのトレドで過ごした。その後、パナマ教区に移動し、22日からの本大会に参加した。

ホームステイでパナマの人々の温かさに触れながら、世界中から来た同じ信仰を有する同じ世代の若者と出会っていった。また、様々な活動と式典、典礼を通して、信者としてのアイデンティティを見つめ、神との出会いも深めていった。パパモビール(教皇の専用移動車)に乗るフランシスコ教皇を間近に見て、感動で涙する青年もいた。

参加した篠原さんは、教皇のスピーチで「愛というのは自己の利益を顧みることなく、全身全霊で注がれるものなのです。あなたはこの愛の存在を信じますか?あなたにとつてこの愛は理解できる、あり得ることだと思えるものですか?これこそがマリアに投げかけられた問いであり、引きだされた問いであり、「はい」と答える勇気を見出ししました。天使は、皆さん一人ひとりにも同じ問いを投げかけています。マリアがなさったように答える勇気を持つていてほしいか?と問いかけられたことが印象に残っているという。また、教皇は閉会ミサで、「青年たちは、教会や社会の未来ではなく、『神の今』を生きるよう呼ばれている」と述べている。

篠原さんは「普段何気なく生活している中で呼びかけて下さっている神様の声に耳を傾け、小さなことに對しても勇気を持って『はい』と答えていきたい。その小さな勇気でも集まれば大きな力になるのだ」と信じ、実践していけるような信仰者となつていきたい」と語る。



教皇歓迎式典に集った青年、各国の国旗がひるがえる

そうであるならば今年はいエスの聖性に染められるよう工夫したいと思えます。まず、教会の歩調に合わせたい。もうすぐ始まる四旬節は(3月6日から)、イエスが聖性の道を明らかに示してくださる時です。私のために受難を受け、死んでゆくイエスはすべてを失われました。それゆえに御父がすべての人を聖なる者になるようキリストの愛の内なるゆるしてくださいます。言い換えますとイエスの究極の貧しさによって究極の豊かさ(全人類の救い)をもたらしました。

イエスにとつて貧しさの価値は無になることであつたわけではなく、愛を注ぎ込むための、なければならぬ空

なつた器(自分自身)であることにありました。キリストの貧しさは私たちの聖性の源となりました。

四旬節の間、典礼全体はいエスの苦しみを紹介しながら、その愛を模倣するように少しでも貧しくなるように私たちに招いていきます。毎日私たちに降りかかってくる悩み、痛み、失敗、挫折などで空っぽになつた自分の器を、祈りで、神の思いでいっぱいにしてほしいですね。みことばを手に持つて毎日を照らし、困難のときにイエスの受け止め方を学びたいです。貧しい人は聖人(さいわい)です。

執筆者 A・トゥルコ神父 (聖ザベリ才教会・島崎教会 主任)

福岡教区人事異動

- (内は現任地、日付は着任期限日 順不同)
- ◆2019年2月9日付
 - ◆牧山勝美師(小倉・門司教会主任) 浄水通・茶山教会主任(4月28日)
 - ◆深堀勝人師(湯川教会主任) 小倉・門司教会主任(4月28日)
 - ◆イム・ドンビン師(小倉・門司教会協働) 飯塚教会主任(4月7日)
 - ◆寺浜亮司師(浄水通・茶山教会主任) 湯川教会管理者(4月28日)
 - ◆谷口尚志師(大楠教会主任) 水巻教会主任(4月28日)
 - ◆キム・ジョンゴン師(大江・崎津・本渡教会協働) 武蔵ヶ丘教会主任(4月28日)
 - ◆シン・カンス師(ソウル教区) 浄水通・茶山教会協働(4月7日)
 - ◆小倉・門司教会協働(4月7日)
 - ◆イ・ハヌン師(テグ教区) 大名町教会協働 浄水通・茶山教会協働(4月7日)
 - ◆ハリ・オカロール師(聖コロバン会) (八代教会主任) 水俣教会主任兼任(5月5日)
 - ◆シルバノ・ダロイト師(聖ザベリ才教会) (教区外) 菊地・山鹿教会主任(3月31日)
 - ◆マキシ・デソーザ師(カプチン・フランシスコ修道会) (教区外) 高宮・大楠教会主任(4月28日)
 - ◆ポール・マスカルナス師(カプチン・フランシスコ修道会) (高宮教会協働) 大楠教会協働兼任(4月28日)
 - ◆一ノ瀬輝幸師(長崎教区) (水俣教会主任) 長崎教区へ(4月28日)
 - ◆ジョンソン・デソーザ師(カプチン・フランシスコ修道会) (高宮教会主任) 管区へ(4月7日)
 - ◆アンジェイ・レヴィツキ師(神言修道会) (飯塚教会主任) 管区へ(3月31日)
 - ◆ヴァレリオ・アンツァネット師(聖ザベリ才教会) (菊池教会主任代理) 管区へ(3月24日)
 - ◆ワユデイ・デンニ師(聖ザベリ才教会) (武蔵ヶ丘教会主任) 管区へ(4月21日)
 - ◆ピーター・ファン・グ・スアン・トアイ師(ドミニコ会) (今村・本郷教会協働) 管区へ(4月28日)
 - 以下、日本語研修
 - ◆ソ・インデック師(韓国インチョン教区)
 - ◆キム・ソジョン師(韓国ソウル教区)
 - ◆ルーカス・レック師(米国ブルックリン教区)
- 〔2019年2月20日付〕
- ◆牧山勝美師 司教総代理

計報

ガブリエル・ブレシュト神父 (御受難修道会)



皮膚がんのため、2月4日、御受難会宝塚修道院にて帰天。享年95。

1923年フランス、ナント市に生まれる。41年、御受難修道会終生誓願、48年、ポルトガルにて司祭叙階。その後、ポルトガル、アメリカなどでの使徒職を経て、71年来日。大阪・池田教会、奈良・大和高田教会を司牧した。語学と記憶力に優れ、関西学院大学などいくつかの大学・学校でフランス語・英語の教師を勤めた。

87年、福岡の宗像修道院へ。福岡では大名町教会にて英語ミサを27年間司牧し、外

ウオード・ピドル神父 (御受難修道会)



肺炎のため、2月13日、御受難会宝塚修道院にて帰天。享年95。

1923年米国ミズーリ州に生まれる。43年、御受難修道会入会、51年、司祭叙階。57年来日。53年から開始されていた御受難修道会の日本宣教活動に加わった。59、60年、長崎城山教会で司牧。60年より宝塚、福岡、東京の各修道院で黙想指導と司祭・神学生の指導および養成にあたる。御受難修道会日本分管理区管区長、上智大学英語講師、教誨師も務めた。また、マリッジ・エンカウンター(WWME)の協力司祭として多くの夫婦と共に家庭司牧に奉仕した。人の心をつかむのがとても上手だった。御受難修道会会員によると、それも生来の才能というよりは、努力を怠らなかつたゆえの才能だったという。

小野田シズカ 修道女 (シヨファイユの幼キイエス修道会)

マルガリタ・マリア

2月3日に帰天。享年92。

【月例黙想会】
期日: ①3月9日(土)17時~10日(日)15時
②4月20日(土)17時~21日(日)15時
指導者: 染野治雄 神父(御受難修道会)
費用: 8,700円(税込・指導料含む)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

【奉獻生活者のための黙想会】
①5月18日(土)夕~25日(土)朝
②6月21日(金)夕~28日(金)朝
③7月20日(土)夕~27日(土)朝
指導: ①②来住英俊神父 ③染野治雄神父

PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

小倉教会

北九州市 小倉北区



小倉教会聖堂で歌と祈りが捧げられる

東日本大震災 音楽と祈りの集い

2011年3月11日の東日本大震災。その翌月から小倉教会の有志で始めた「音楽と祈りの集い」は月に一回のペースで継続され、2019年3月で第96回を迎える。

毎回、被災者と被災地を思い、黙祷の祈りを捧げ、被災地支援の募金を行ってきた。被災地で支援に関わっている人を招き、話をしてもらったこともある。参加者は少数だが、信者でない地域、職場、家族の人の参加もあった。

「継続することで、『わすれない』とのみんなの思いが力になるのでは…」と8年間歩んできた。宮崎さんは「愛や情熱などの思いが実質的

なものなのか確かめる修行のようなものだった」と語る。綾部さんは「その時々の人々との関わりが大きく、世界の広がりを感じた」「どうしたら人々の心に入っていき歌となるのかを探求する歩みだった」と振り返る。有志グループのもう一人のメンバー山本幸子さん（いずれも小倉教会信徒）は二人の振り返りを聞きながら頷いていた。「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」（マタイ18章20節）。

2019年4月からは活動を一時休止する。更なる奉仕のために、休養し充電期間を設けることを決定。苦渋の決断だったが、それぞれの信徒としての召命・使命を生きるための選りを選んだ。

活動休止前の最後となる第96回「音楽と祈りの集い」は、3月10日（日）、13時半から小倉教会聖堂で。入場無料。マリimbaとサックスのコンサートを予定している。

1月30日（水）、福者小笠原玄也一家の殉教記念日の早朝の祈りの集いに先立ち、熊本市内各地から司祭、修道士、信徒30人が殉教の地、禅定寺に集合した。ここでは、住職の最勝林佑信和尚の厚意で本堂の正面祭壇に殉教者の位牌が供え置かれ、巡礼者たちは肅々と焼香を行った。



早朝の祈りに集った信徒・修道士・司祭

その後、徒歩で約2キロの行程を口ザリオの苦しみの玄

福者小笠原玄也一家殉教記念日 殉教者墓地にて「早朝の祈りの集い」

義を黙想しながら殉教者の眠る墓地へと巡礼した。朝6時、集った約50人で「早朝の祈りの集い」が始められた。朝まだきにライトの光で照り映えた殉教者の墓前で、島崎教会主任司祭トウルコ神父によって神のみ言葉が厳粛に朗読された。

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものは、それを失うが、この世で自分の命を憎む人はそれを保つて、永遠の命に至る」（ヨハネ12・24、26）。

続いて、迫り来る殉教を前にしてしたためられた福者マリアみやの遺書が肅々と読み上げられた。この中で「私は、この信仰を捨てられませんと云う死を覚悟しての証し」は、朗読されたみ言葉と呼応して、一人ひとりの心に響き合うものとなった。

最後は、心を一つにして殉教者への取次の祈りを唱えた。一人の男性信徒は、「私たちは、今、自由に信仰を証しできます。これは、殉教者たちが、一粒の麦となって、地に落ちて死なれたからでは

ないでしようか。今日のみ言葉が、成就したのです。今回の「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録も正しくその通りと思えます」と感想を述べた。（報告）島崎教会 高木光行

ホームレス支援 「スープの会」 関りの中で学ぶ学生ボランティア

例年2月と3月に「NPOおにぎりの会」と協働して行う路上生活者のための支援活動「スープの会」。

福岡市内の11コースを巡回し、約1000人の路上生活者に食事や必要な情報を届ける。

関係者によると、今年の傾向として、福岡市中央区内の3コースに当事者が集中してきている。活動に参加するボランティアは約100人ほどで、「スープの会」の活動時期には学生の姿が多くなる。

学生ボランティアを送り出している聖マリア学院大学（福岡県久留米市）と福岡コレジオ（長崎教会管区司祭志願院

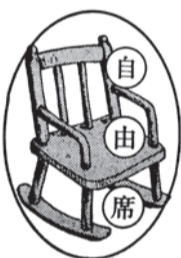
聖マリア学院大学からは看護学部1・2年生が2・4人参加する。当大学は「学生がコミュニティに向いていき、そこに暮らす人々との交わりを通して『人間の尊厳』を守る」とは、どのようなことなのかを体験をもつて学ぶ」という目的で、様々なボランティア活動への参加を奨励している。

引率者は「最初の参加は敷居が高いと感じるようですが、実際に参加して『見えていなかったこと』『知ったつもりだったこと』に気づくようです。炊き出しを終えて帰るときは表情が柔らかく、明るくなっていることがとても印象に残っています」と語る。

福岡コレジオは司祭志願者の養成機関で、養成の一環として社会の中で福音を生きるための具体的な活動も大切にしている。その目的でコレジオ生7人が夜回りに参加。夜回りを体験した後に次のようなエピソードがあったという。

「学校帰りにホームレスを見かけたので、缶コーヒーを買ってどうぞ、と言ったけど、感謝される風もなく、立ち去っていった。この学生は『モノをあげることはなく、やさしい関わりの方が大切なのかな』と思った。なぜなら皆孤独だから」と語ったという。

「スープの会」は3月の第2週で終了するが、路上生活者の支援は通年、毎週行われている。詳細については本紙4面のお知らせ「美野島司牧センター」に掲載している。



出合いに感謝 佐賀教会 塚原祐一

人の縁（えにし）とは、本当に不思議デス。2年前になりましたが、小生は友人とシンガポールの聖ヨゼフ教会に行きました。ここは友人が3ヶ月の技術研修のために佐賀に派遣される前日に、日本での生活の安心を願った小さいがとも綺麗な教会デス。彼の佐賀での生活はとても不便でした。一時間に一本の路線バスで毎日曜日、教会に来ていました。掃除なども手伝ってくれました。そして帰りに一週間の食料を買って、バス

で帰って来ました。見かねた小生は、買い物などを数回手伝って寮に送ってあげました。帰国する彼を空港で見送った時は別れがとても寂しかったデス。でも再会を誓い合いました。会うまではフェイスブックでお互いの気持ちのやり取りをしていました。その後再会ができ、聖ヨゼフ教会でお互いの出合いを神に感謝したので。それからしばらく友人と旅を楽しむことができませんでした。国籍や育った環境も違うのに縁の糸が繋がるのは、本当に不思議なことデスね。実はまた会いたくなくて、先日彼の住んでいる所へ行って来たんです。ちなみに私のクリスマスチャンネームもヨゼフです。

◆原稿は400字以内
◆投稿先・福岡カトリック司教館 教区係り宛
FAX 092・523・2152
Eメール cct.kounhou@nifty.com
※「自由席」と明記し、住所、氏名、電話番号、所属教会も明記してください。

教区幼児教育連盟園長会 神様の子どものために働く者たち

2月19日（火）午後、カトリック福岡司教館にて、カトリック福岡教区幼児教育連盟の園長会が開催された。教区内の幼稚園、保育園、認定子ども園の園長が集まった（56園中の28園）。会長の中村彰神父（西新カトリック幼稚園）から参集のお礼と励ましの挨拶を受け、会議に入った。

議題は①2019年度夏季研修大会の収支予算、②2019年度教区幼児教育収支予算、③連盟各地区からの報告、④その他、であった。

①と②については、満場一致で承認された。③について、福岡地区と筑後地区は研修大会の準備に取り組んでいること、北九州地区は来る7月に



園長会に集った各園の責任者たち



☆キリスト教講義 若松英輔・山本芳久著



共に同じ神父（日本人の心情や文化の中でイエスの道をとらえようとした井上洋治神父）に学んだ二人が、中世哲学・神学の巨人トマス・アクィナスと、彼に影響を受けた近代日本の哲学者や文学者たちの言葉を読み解く。言葉・神秘・歴史・悪・愛・聖性の6つの切り口をもとに、静的で倫理的なキリスト教のイメージを動的に刷新する、非キリスト者にも開かれた柔らかくも深遠な画期的キリスト教講義。

文藝春秋発行 価格1850円＋税
☆主は「たとえ」で語られた Vol.2 澤田豊成著



福音の中でイエスは多くのたとえ話をされているが、それを分かりやすく解説したシリーズ第2巻で、典礼暦年C年に合わせて、主にルカ福音書の箇所を取り上げている。 サンパウロ発行 税込価格1296円

不動産全般/売買・賃貸・管理 何でもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅（新築・改築工事） 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 (092) 811-7265

本との出合い 人との出合い 神との出合い セント・ポール FUKUOKA 聖パウロキリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時30分~PM5時 日曜/AM11時~PM2時（定休日水曜・祝日） TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから 伝える喜びへ

四旬節 3月6日(水)「灰の水曜日」から
四旬節中の「四旬節愛の献金」にご協力ください
性虐待被害者のための祈りと償いの日 3月22日(金)
※一面の記事をご参照ください。

美野島司牧センター建替資金の協力を
【募金送付先】
郵便振替：01760-6-20729
加入者名：カトリック福岡教区
※通信欄に「美野島司牧センター建設募金」とお書きください。

広島教区としての西日本集中豪雨災害支援へのお礼と募集終了について
カトリック広島司教区は、西日本集中豪雨被害の支援を目的とした募金受付を2018年12月31日をもって終了。広島教区の災害サポートセンターを中心とした支援活動は継続されています。

2019 スープの会
ホームレス支援 越冬炊き出し
「見て、聞いて、知って、降りて来てくださる神に倣おう」
みなさん、ご参加ください。献品・献金もお願いします。
3月の2週目まで毎金曜日

2019 スープの会
HOMELESS SUPPORT
2月27日(日)の2週目まで毎金曜日
●今年もホームレス支援
越冬炊き出しをします

福島家族支援「博多にきんしゃ〜い」講演会
日時：3月9日(土) 13時30分〜16時
場所：カトリック大名町教会 1階講堂
テーマ：東日本大震災から8年
〜私の一歩・仲間たち・未来は子どもたちと共に〜
講師：西道典氏(男山八幡神社宮司)
入場料：無料(自由献金)
問合せ：080・8392・7394日良
主催：教区災害被災者支援室内 福島家族支援実行委員会

福岡教区2019年クルシヨ開催
神さまと出会い、語り、恵みをいただく
日時：5月2日(木) 10時〜4日(土) 15時
場所：福岡黙想の家(宗像市名残1056-1)
参加費：16,000円(宿泊、食事、事務用品等含む)
指導司祭：福岡教区司祭他
問合せ：戸畑教会・クルシヨ2019事務局
093・871・3199
メール：budounoki.tobata@gmail.com
※申し込み方法等については、各教会の主任司祭、もしくは上記問合せ先まで。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

編集後記
灰を付すパードレの指慈父の指、懺悔終へミモザの花の明るさよ。四旬節、すべてに先立つて注がれている、主からの恵みと慈しみを味わう歩みの時。もうすぐ春ですね。(C)

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3・4月
3月2日(土) ロザリオの会
若松教会土曜学校見学
4日(月)〜7日(木) 九州説教セミナー
9日(土)〜10日(日) 月例黙想会(募集中)
29日(金)〜30日(土) 八幡カトリック幼稚園職員黙想会
4月1日(月)〜5日(金) オプレート会
6日(土) ロザリオの会
8日(月)〜12日(金) 厳律シトー会上長会議
16日(火)〜22日(月) 援助修道会
20日(土)〜21日(日) 月例黙想会(募集中)
※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email:f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・靈性交流センター
※祈りの集い
年間テーマ：「祈り」神秘体験〜キリストによって神との出会い
日時：3月14日(木) 10時〜15時
内容：「わたしは門である」(ヨハネ10・7-9)
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(聖ザベリオ宣教会)
問い合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
次回：4月11日(木)「わたしは良い羊飼いである」
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡
日時：3月16日(土)・30日(土) 10時〜11時45分
4月13日(土)・27日(土) 10時〜11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
2日(土) 難民移住移動者全国研修会ミサ
3日(日) 年間第8主日 鹿島教会堅信式
4日(月) 「いつくしみの苑」工事完成式(佐賀)
↑E.グリフィン(2014年 手取教会)
6日(水) 灰の水曜日 四旬節愛の献金(四旬節中)
7日(木) 常任司教委員会
↑ミカエル平田寛(2002年 門司教会)
9日(土) ↑W.カリー(2012年 手取教会)
10日(日) 四旬節第1主日 レジオマリエ・ミサ
11日(月) ↑L.グリフィス(2013年 菊池教会)
13日(水) ↑M.ラバルタ(2015年 天神町教会)
15日(金) 久留米信愛短期大学卒業式
17日(日) 四旬節第2主日
19日(火) 聖ヨセフ ↑ヨゼフ牧山田一(2018年)
21日(木) 助祭叙階式
22日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
24日(日) 四旬節第3主日 浄水通教会ミサ・耐震工事起工式
25日(月) 神のお告げ
30日(土) (宗法)幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会
↑V.チェリツァ(2005年 唐津教会)
31日(日) 四旬節第4主日
飯塚教会献堂式ミサ、福岡コロジオ修了式
【4月】
1日(月) 福岡カトリック神学院開校ミサ・祝賀会
↑J.クレハン(2008年 荒尾教会)
3日(水) ↑A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)
4日(木) 常任司教委員会
↑ベトロ黒川博(2002年 大牟田教会)
5日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
6日(土) ↑アウグスチノ片岡哲夫(2016年)
■ゴチックは司教日程

福岡
聖ドミニコ信徒会集会
【日時】3月2・16日(土) 15時〜17時(場所) 箱崎教会(内容) 分かち合い(指導) アン・トニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先) ☎092・651・3867箱崎教会
【師イエス祈り会】
【日時】3月8日(金) 10時ミサ(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7468・3631西田
【レジオマリエ福岡クリア北九州・福岡合同アチエス】(日時) 3月10日(日) 13時半〜16時半(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎090・9654・9996
【9日吉米1回の誓約更新】
【震災のための祈りのリレー】(日時) 3月11日(月) ミサ7時から・夕の祈り(テゼの祈り)16時から(場所) 礼拝会福岡修道院(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
【聖書に集う会】
【日時】3月13日(水) 14時〜15時半(場所) サンパウロ福岡宣教会センター3階ホール(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
【福岡チエナクルム】
【日時】3月15日(金) 10時ミサ(場所) 高宮教会(指導)
【パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会)】(問合せ先) ☎090・7468・3631西田
【祈りの集い・「家庭の友」読書会】(日時) 3月16日(土) 14時から(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(問合せ先) ☎092・541・3730
【松山※「家庭の友」持参】
【カルメル在世会集会】
【日時】3月18日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話(カルメル会の霊性)(指導) 九里彰神父(方メル会)(問合せ先) ☎095・828・2350鶴池
【グレゴリオ聖歌を歌う会】
【日時】3月19日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容) 四旬節に捧げるグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686堺
【第18回がん哲学外来「ぬくみカフェ」】(日時) 3月23日(土) 14時〜16時半(場所) サンパウロ福岡宣教会センター3階(ゲスト) 加藤理人氏(イエズスの聖心病院、笑い療法士)(参加費) 500円(問合せ先) ☎090・1162・6395柴田
【講演会「憲法のおはなし」】(日時) 3月24日(日) 14時〜16時半(13時半受付)(場所) 大名町教会4階会議室(講師) 楳原樹弁護士(檻の中のライオン)著者(参加費) 500円(憲法ファイル代込) 高校生以下200円(問合せ先) ☎092・851・8032西新教会
【フラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)】(日時) 3月29日(金) 19時45分から(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
【美野島司牧センター】
あなたの勇気が路上の命を支えます！◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時◆越冬期ホームレス支援炊き出し・夜回り3月1・8日(金) 調理14時/夜回り20時 大名町教会(スープの会と協働)◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日 13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M.コース神父

北九州
東日本大震災被災地支援「音楽と祈りのつどい」第96回(日時) 3月10日(日) 13時半から(場所) 小倉教会聖堂(内容) 東日本大震災のための祈りと音楽(マリンバとサクソ) (問合せ先) ☎093・921・0093小倉教会※入場無料・募金あり
【北九州召命を共に祈る会】(日時) 3月14日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミサと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905藤井
【小倉祈りの集い】
【日時】3月22日(金) 13時半〜15時(場所) 小倉教会信徒会館2階(問合せ先) ☎090・3985・5209松田

熊本
【聖霊による刷新熊本祈りの集い】(日時) 毎週金曜日10時半〜12時(場所) 手取教会信徒会館(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先) ☎096・384・1693中川
【セントポール福岡よりセントポール FUKUOKA】
4月1日(月)〜3日(水)まで書院整理のためお休みします。
お知らせ
箱崎教会のファックス番号が変更になりました。
FAX092・710・5242
年間購読のご案内
個人・団体で年間購読して下さっている皆さま、新年度4月からの本紙発送について、変更がありましたらご連絡ください。
新規購読申込みも随時受け付けています。どなたかにお送りしたい気持ちもお届けできます。購読に関する問合せは教区広報室まで。上記メール宛または ☎092・522・4059

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
内科・歯科臨床研修指定病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
救命救急センター
地域災害拠点病院
一緒に働きませんか?
=募集=
医師・看護師・医療技術職
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30〜12:00
14:30〜20:00
土曜：9:30〜15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12・2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教会センター
10:00〜18:00(月〜土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930